

図書館スマートスピーカーのサービス

京都府 精華町立図書館

基本データ

所在地	京都府相楽郡精華町大字 南稲八妻小字北尻 70 番地
職員数	19 人
うち司書数	16 人
蔵書数	200,537 冊
利用登録者数	36,891 人
年間貸出冊数	410,031 冊
(児童用図書貸出数 159,209 冊)	

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】最新技術の導入、情報機器等の活用

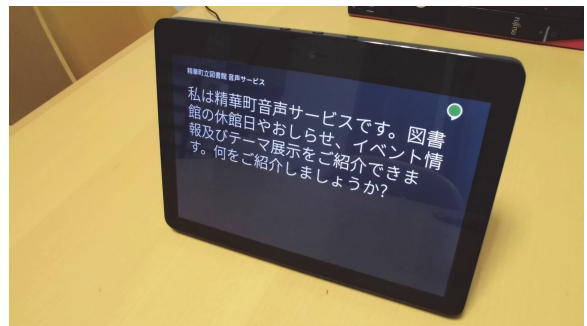
【活動のねらい】

- 読書バリアフリー法の施行により、視覚障害者等の読書環境を整備する取組みが全国の図書館で広がっている。当館の新たな障害者サービスとして、視覚に障害のある人や活字による読書が難しい人へ、読書環境だけではなく様々な情報を提供できる環境を整えるため、スマートスピーカーによるサービスを実施した。

取組・活動の概要

- 視覚に障害のある人や活字による読書が難しい人を対象に、AI（人工知能）が搭載されたスマートスピーカーを用いたサービスを行っている。
- 一般的なスマートスピーカーに備わっている、ニュースや天気予報などを返答したり情報機器などを操作したりできる機能に加え、図書館のスマートスピーカーでは休館日や図書館からのお知らせ、テーマ展示などを答えることができる。また、利用者はテーマ展示の中から図書館で所蔵しているデジ資料を選んで聴くことができる。
- 図書館で所蔵する録音図書を利用者が聴く場合の使用例は以下のとおり。
 - ① スマートスピーカーに「精華町音声サービスを開いて」と呼びかけて、精華町音声サービスの画面に切り替える。
 - ② テーマ展示を開くよう呼びかけると、図書館で登録しているテーマ一覧がスマートスピーカーに表示され、読み上げられる。
 - ③ その中から、デジ資料を開くよう呼びかけると、図書館で所蔵するデジ資料の一覧が同様に表示され、読み上げられる。
 - ④ 利用者がタイトルを指定し図書館に手配するよう呼びかけると、スマートスピーカーから図書館へメールが送られる。

- ⑤ 図書館職員はメールが届いたことを確認し、指定された録音図書を取り出し、録音図書再生機にセットする。



スマートスピーカー

取組・活動の工夫や特徴

- 町広報誌や町ホームページに掲載して広く周知するほか、視覚に障害のある利用者に直接声をかけて案内を行った。
- 当事者の意見を反映させるため、視覚障害のある他の図書館職員と、サービスの利用について意見交換を行った。

取組・活動の成果や今後の展望

- 新たな障害者サービスとして京都新聞に掲載されるなど、図書館として注目を集めることができた。今後は利用者のニーズの把握に努め、更なる利用拡大を図る。